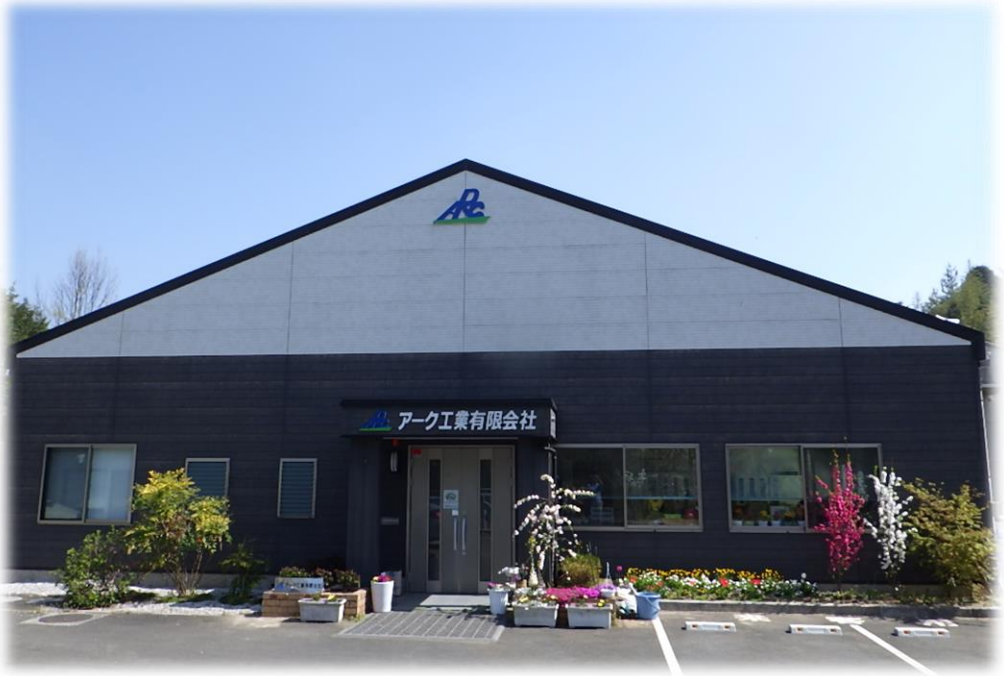
B-8

エコアクション２１

令和4年度版

環境経営レポート

（運用期間　2022年11月～2023年10月）



アーク工業有限会社

R6年2月5日

1.事業概要

1）事業者名及び
代表者　　アーク工業　有限会社
代表取締役　林　秀雄

2）法人設立年月日
平成２年11月１日

3）所在地
〒８２２－０１５１
福岡県宮若市稲光２７１－１９

4）環境管理責任者
及び事務局　　環境管理責任者　林　恵子
EA-21事務局　林　里穂

5）連絡先
連絡担当者　林　里穂
TEL　：　0９４９-５２-０４９７
FAX　：　0９４９-５２-３６０８

6）事業規模

資本金	10百万円
従業員	8名　（令和4年度）
社屋敷地面積	4426㎡
工場	634㎡
事務所	194㎡
資材倉庫	280㎡
塗装ブース	240㎡

7）事業活動の内容
上下水道施設機械設置、配管工事
ポンプ場施設機械設置、配管工事
鋼構造物設計製作、機械加工
塗装工事
土木工事
上記に付帯関連する工事

8）登録・認証範囲
全組織・全活動・全従業員

9）事業年度　　11月1日　～　10月31日

目 次

1. 事業概要

2. エコアクション２１実施体制

3. 環境経営方針、行動指針

4. 令和5年度及び中期環境経営目標

5. 環境経営計画

6. 当年度環境経営目標の取組実績

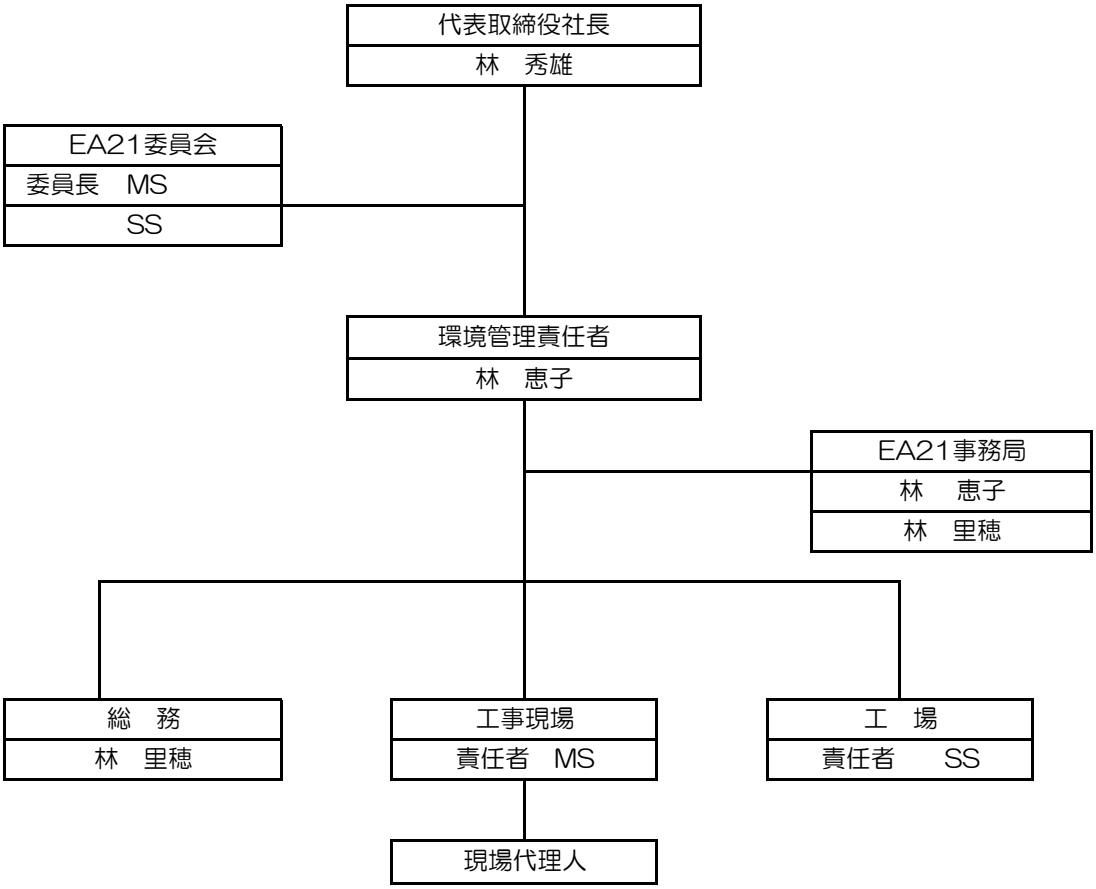
7. 環境経営活動計画の取組結果とその評価及び、今後の取組み内容

8. 環境関連法規への違反・訴訟などの有無

9. 代表者による全体の評価と見直しの結果

10. 環境経営活動状況

2．エコアクション２１実施体制



(所属)役職	役割・責任・権限
代表取締役	活動の統括、環境経営方針設定、環境経営システムの構築 取組み実施のための準備 活動全体の評価と見直し
環境管理責任者	活動全体の把握と運用状況の報告
EA21事務局	各環境関連記録の管理・環境活動レポートの作成
総務	事務所における環境経営活動の遂行管理
工事部門	工事現場における環境経営活動の遂行を統括
工場	工場における環境経営活動の遂行を統括
工事現場	工事現場における環境経営活動の作業員への周知徹底
EA21委員会	実施状況：1回/3か月実施する 確認ならびに反省会、今後の取組みなど

3．環境経営方針、行動指針

[基本理念]

あらゆる事業活動の中で環境対策を重要課題と位置づけ、全員が環境対策に高い意識と実践で社会に貢献できる働きをします。

[行動指針]

環境マネジメントシステムを構築し、環境関連法規の遵守とともに地域・業界の環境関連要求事項に配慮し、継続性のある環境活動に取り組みます。

1．二酸化炭素排出量の削減に努めます
　節電・省エネ活動を励行し、電力消費量を削減します
　エコドライブ、車両の適正管理を行い燃料消費量の削減に努めます

2．廃棄物の排出量削減に努めます
　材料のロスをなくし、廃棄物の削減に努めます
　資源ごみの分別徹底により廃棄物の減量に努めます
　書類の電子化、裏紙利用等により紙の使用量削減に取り組みます

3．化学物質の適正使用に努めます

4．従業員への環境保全教育、意識の向上に努めます

5．事業における環境に有益な活動を推進します

6．環境関連法規の遵守に努めます

7．この環境方針は広く一般に公表します

アーク工業有限会社
代表取締役　林　秀雄
制定：平成27年5月26日
改訂：令和元年10月1日

4．令和4年度及び中期環境経営目標

【事業所】

環境目標	単位	H30年度（基準年度）	R4年度目標	R5年度目標	R6年度目標
		30.11～31.10	R4.11～R5.10	R5.11～R6.10	R6.11～R7.10
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	15,535.4	14,824.0 4.6%削減	14,751.2 5%削減	14,592.7 6.1%削減
電気使用量の削減	kWh	24,930.0	24,200.0 2.9%削減	24,200.0 2.9%削減	24,100.0 3.3%削減
灯油使用量の削減	ℓ	702.1	670.0 4.5%削減	670.0 4.5%削減	660.0 5.9%削減
ガソリン使用量の削減	ℓ	2,175.2	2,020.0 7.1%削減	2,000.0 8%削減	1,957.7 10%削減
LPG	㎥	30.0	24.0 20%削減	22.0 26.6%削減	21.6 28%削減
一般廃棄物の排出量削減	kg	145.1	135.0 6.9%削減	134.0 7.6%削減	133.5 8%削減
産業廃棄物排出量の削減	t	5,749.0	5600.0 2.5%削減	5580.0 2.9%削減	5547.8 3.5%削減
水使用量の管理	-		使用量の管理	使用量の管理	使用量の管理
化学物質の管理	-		使用量の適正管理	使用量の適正管理	使用量の適正管理
事業における環境に有益な活動	事故件数 違反、災害 0件/年	0件	0件	0件	0件
環境保全教育・会議等の実施	2回/年	2回	2回	2回	2回

【現　場】

環境目標	単位	H30年度（基準年度）	R4年度目標	R5年度目標	R6年度目標
		30.11～31.10	R4.11～R5.10	R5.11～R6.10	R6.11～R7.10
	kg-CO2	22,170.4	21,240.0 4.1%削減	21,216.2 4.3%削減	20,806.0 6.1%削減
ガソリン使用量の削減	ℓ	905.7	870.0 3.9%削減	860.0 5%削減	850.0 6.1%削減
軽油使用量の削減	ℓ	7,755.0	7,450.0 3.9%削減	7,450.0 3.9%削減	7,300.0 5.8%削減
化学物質の管理	-		使用量の適正管理	使用量の適正管理	使用量の適正管理
事業における環境に有益な活動	事故件数 違反、災害 0件/年	0件	0件	0件	0件

5. 環境経営活動計画

①二酸化炭素排出量の削減

(1)電気使用量の削減

事務所・工場で使用する電力は九州電力からの購入電力と当社の太陽光発電による電力の合計である
太陽光発電はCO_2の発生がないため削減目標値は購入電力のみを設定する
エアコンの設定温度を決め実行する(冷房26℃,暖房23℃)
エアコンとサーキュレータを併用する
昼休みの消灯を徹底する
節電表示で従業員の意識向上を図る
省エネ機器を導入する
夜間、休日はパソコン・プリンタの主電源を切る
空調機のフィルターの定期的な点検、清掃、交換を行う
電気機器、換気扇等の不使用時に停止する

(2)ガソリン使用量の削減

建設機械のアイドリングストップを励行する
(工場)リフト運転と荷積方法の見直しを行う
車両ごとにタイヤ空気圧の適正値を表示し、定期的に確認する
経年車両や燃費の悪い車両の見直し、入れ替え

(3)灯油使用量の削減

室温の適正管理を行う

(4)軽油使用量の削減

省エネドライブを励行する
車両の燃料使用量と走行距離のチェックを行う
車両の整備点検を適正に行う
タイヤの空気圧を定期的に確認する

(5)LPG使用量の削減

ストーブの熱源を有効的に利用する
冬季以外は給湯室の温水を使用しない

②一般廃棄物の排出量削減

裏紙利用を実施する
コピー前の再確認を行う
書類の電子化を行う
社内LAN利用による文書の電子化
コピー機使用前の設定確認と使用後のリセット
文具注文時は、まとめて購入することで梱包材の廃棄を削減する
使用済み封筒を利用する
作成する書類をできるだけ一枚にまとめる
ダンボールとコピー用紙は分別し再資源化する

③産業廃棄物の排出量削減

産業廃棄物の分別徹底によるリサイクル率を向上させる
マニフェストをもとに廃棄物の適正な処理を行う
現場との工事打合せを十分行い、手直し品を減らす
紙、金属缶、ガラスびん、プラスチック、電池等について、分別回収BOXを配置する
施工方法の工夫による廃棄物の削減を目指す

④総排水量及び水使用量の把握

メーター設置により地下水の使用量を把握する
掲示物による節水意識の向上を図る

⑤化学物質の管理

使用量は少量の為、数量の計上はしない。ただし使用上の注意と適正管理を行う

⑥事業における環境に有益な活動

無事故、無違反、無災害
手戻りの低減
省エネ型機械の選定、導入
再生資源資材の利用

⑦環境保全教育、会議等の実施

環境方針、環境活動内容を従業員へ周知させる
会議による環境負荷低減に資する提案、設計を行う

6．当年度環境経営目標の取組実績

【事業所】

環境目標	原単位	H30年度（基準年度）	R4年度目標	**R4年度実績**	R4年度目標達成結果
二酸化炭素排出量の削減	kg - ＣＯ２	15,535.0	14,824.0	**14,790.3**	○
電気使用量の削減	kWh	24,930.0	24,200.0	**26,842.0**	×
灯油使用量の削減	ℓ	702.1	670.0	**858.1**	×
ガソリン使用量の削減	ℓ	2,175.2	2,020.0	**1,422.6**	○
LPG	㎥	30.0	24.0	**18.80**	○
一般廃棄物の排出量削減	kg	145.1	135.0	**121.1**	○
産業廃棄物排出量の削減	kg	5,749.0	5,600.0	**4,160.0**	○
水使用量の管理	ℓ		使用量の管理	**使用量の管理**	
化学物質の管理	－		使用量の適正管理	**使用量の適正管理**	
事業における環境に有益な活動	事故件数 違反、災害 0件/年	0件	0件	0件	○
環境保全教育・会議等の実施	回/年		2回	**2回**	○

※電気使用量は購入電力のみを計上（太陽光発電による電気使用量は含まない）

※二酸化炭素排出量計上は九州電力の平成30年の調整後排出係数0.347kg-CO2/kWhを使用

【現　場】

環境目標	原単位	H30年度（基準年度）	R4年度目標	**R4年度実績**	R4年度目標達成結果
二酸化炭素排出量の削減	kg - ＣＯ２	22,170.4	21,240.0	**22,863.8**	×
ガソリン使用量の削減	ℓ	905.7	870.0	**753.9**	○
軽油使用量の削減	ℓ	7,755.0	7,450.0	**8,138.9**	×
化学物質の管理	－		使用量の適正管理	**使用量の適正管理**	
事業における環境に有益な活動	事故件数 違反、災害 0件/年	0件	0件	0件	0件

7.環境経営計画の取組結果とその評価及び今後の取組内容

①二酸化炭素排出量の削減

⑴電気使用量の削減

工場の新築工事において太陽光パネルの配置位置が改善されたが、仕事量も増加し、
工場の稼働率が増えたため、購入電力の削減には至らなかった。
環境目標の基準値の変更を行う予定であったが、現基準値のまま
今後の目標を設定することとする。
また、節電の徹底を再確認しながら、行っていく。

⑵ガソリン使用量の削減

事業所、現場ともに達成できた。
引き続き、エコドライブを心がける。

⑶軽油使用量の削減

前半の発電機使用料が多かったため未達であったが、後半は近距離の現場が多く
使用量が少なかったため、昨年のような大幅な増加ではなかった。
引き続き、エコドライブの取り組みを行っていく。

⑷灯油使用量の削減

工場での塗装業務でジェットヒーターを使用したため、灯油使用量が多かった。
また、気温が低く、例年に比べ使用頻度が高かった。

⑸LPG使用量の削減

繁忙期に事業所内での滞在時間が長く、使用量が増えた月があったが、
夏季の使用を中止していたため、目標達成できた。

②一般廃棄物の排出量削減

目標達成できた。今後もコピー用紙の使用の仕方、リサイクル等をしっかりと
継続していく。

③産業廃棄物の排出量削減

達成できた。

④総排水量及び水使用量の把握

例年通りであった。

⑤化学物質の管理

使用量は少量の為、計上をしていない。

使用上の注意、適正使用はできていた。

⑦事業における環境に有益な活動

無事故、無災害

手戻りの低減

環境配慮型建設機械の導入

再生資源資材の利用

⑧環境保全教育、会議などの実施

スケジュール通り実施できた。

従業員の退職、新規雇用に伴い、組織の入れ替わりがあり、

引継ぎ等で混乱があった。

⑨次年度の取り組み

新体制での円滑な活動を行う

引き続き、社員一丸となってエコ活動に尽力する

無事故無災害となるよう日々の心がけを行う

8．環境関連法への違反・訴訟などへの有無

環境関連法の遵守状況をチェックの結果、違反はなかった。

主要な環境関連法規は廃棄物処理法、フロン排出規制法、騒音規制法、浄化槽法である。

尚、環境当局からの違反の指摘、利害関係者からの訴訟などもなかった。

9．代表者による全体の評価と見直しの結果

1.評価

・社員が一丸となってエコ活動の取組を行ったが、組織の変更があり周知できていない箇所もあった

・室内や工場内の5S活動（整理、整頓、清掃、清潔、躾）の周知徹底ができていた

・適正な安全衛生管理により無事故、無災害を達成できた

・繁忙期の書類等の散乱があり、用紙の多用があった

2.見直し及び指示

・社内のコミニュケーションを活性化し取組、活動意識の向上を図ること

・引き続き安全を最優先に無事故、無災害に努めること

・協力会社の連携、協力を仰ぎエコ活動を推進していくこと

・資材、燃料価格高騰の折、資源投入量、コスト削減を意識しエコ活動に努めること

・書類整理を見直し、紙の使用の無駄を減らすこと

・新体制でも、社員一丸となって取り組むこと

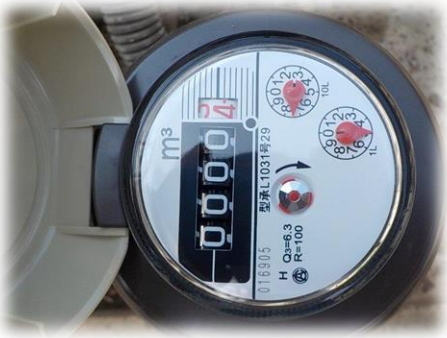
10.環境活動状況

太陽光発電システムの運用

発電量の監視

節水意識啓蒙

環境教育の実施

ダンボールのリサイクル

水道メーターの設置